

派兵  
1年

# 自衛隊はイラクから撤退を

無差別攻撃を許すな! 占領軍は撤退を、国連中心の復興支援へ



イラク・ファルージャの住民は、「米軍のやったことは虐殺だ。市民もテロリストも区別なく殺害した。建物の復旧だけで10年はかかるし、傷ついた子どもを癒すにはさらに時間が必要だろう」と語っています（「毎日」1月16日付）

同地では、米軍の無差別攻撃で6000人もの死者が出たと報道されています。この攻撃には、沖縄海兵隊が中心部隊として参加していません。

## 自衛隊宿営地に 14発もの砲撃!

自衛隊が駐屯しているイラク南部サマワの宿営地は、この1年間で計9回14発の砲撃がくわえられています。今年になってからも1月11日、ロケット弾攻撃がありました。自衛隊では、施設の防弾対策などを強化していますが、自衛隊を標的にしていることは疑いがない事実です。自衛隊員の安全を定めたイラク派兵法からいっても、自衛隊は撤退すべきです。

自衛隊がイラクに派兵されてから1年がたちました。イラクでは市民を無差別攻撃するなど米軍の横暴な軍事占領に反対する抵抗が高まり、混乱が続いています。占領をやめさせ、イラクの主権を回復し、国連中心の復興支援をすすめることが大切です。だからイラクに派遣された37カ国のうち16カ国の軍隊が撤退ないし撤退表明するなど、次つぎに帰国しています。

それにもかかわらず、小泉首相はアメリカのために自衛隊の派兵延長を続けています。とんでもありません。自衛隊撤退を求めましょう!

抗議・要請先

首相官邸 FAX 03-3581-3883  
防衛庁 FAX 03-5229-2134